

こんにちは 牛越です

【第175回】

春を迎えて



大町市長
牛越 徹

厳しかった冬も終わり、ようやく春を迎え、先月には市内小中学校の卒業式や保育園・幼稚園の卒園式が開かれました。

大町南小学校では、6年前の入学式に臨んだ頃に比べ大きく成長した卒業生が、中学校の制服を身に着け希望に満ちた笑顔で喜びを分かち合っていました。また、大町中学校では、自らの進路に向かって進む決意を胸に、学舎を巣立っていきま

した。いよいよ春の観光シーズン、今月15日には立山黒部アルペンルートの開通式を迎えます。今年の雪の大谷は積雪に恵まれ壮大な壁の出現が期待されます。

ところで先月中旬、大糸線の利用促進と輸送力強化の要請にJR西日本金沢支社に伺いました。沿線で構成する期成同盟会では、地域一体となって大糸線の振興に取り組んでいます。特にこの冬は南小谷駅以北は豪雪に見舞われ、頻繁に運休が発生し乗客の足が奪われました。このため、運休時の代行輸送を含め安定的な運行の確保を強く要請しました。

令和6年度は、北陸新幹線の敦賀延伸に伴う大糸線の利用促

進に向け、JR西と長野・新潟両県、沿線自治体が協力してさまざまな誘客活動を展開しました。大阪など関西圏からの観光誘客を図る特設ホームページの開設やキャンペーン、イベントなどを実施するとともに、糸魚川駅で大糸線と新幹線の接続が悪い便を改善するため、バス運行の試行により利便性の向上に取り組みました。

今回金沢へも、白馬から大糸線増便バスに乗り、残雪たっぷり姫川渓谷の雪景色を眺めながら向かいました。バスの利用実績は昨年6月から今年2月まで、毎日4往復で2万人を超え、多くの皆さんに乗りいただく、大糸線沿線地域には大きな潜在需要があることが確認できました。新年度も引き続き誘客活動に力を尽くします。

大糸線は、日本海と県中央部を結び基幹路線で、松本を経由して東京・名古屋を結んでいます。観光誘客による地域振興のため、また通勤通学の身近な足としてなくてはならない公共交通の一つです。市民の皆様にも機会を見つけてぜひご利用いただきますようご協力をお願いします。